

いのちと暮らし、平和守る都政を

日本共産党 都議会議員 環境・建設委員会副委員長  
都議団政調会長

# とや 英津子

## ニュースレター



2026年1月号

SASE OUR FUTUR

暮らしの相談は



HP



X・YouTube・LINE は

とや英津子で検索

事務所

練馬区桜台1-6-11  
TEL 03-6324-8060



新年おめでとうございます

## 生活できる東京を

都議会議員 とや英津子

昨年は物価高騰で暮らしが大変でした。そんな中、14名の日本共産党都議団は、賃上げ支援や児童育成本手当の増額、福祉施設への支援、国保や高齢者の負担軽減、教材費や修学旅行代の支援など積極的な提案をおこなってきました。

賃上げ支援では、都が短期間で給付ができるよう検討を開始したとの議会答弁がありました。また、福祉施設への物価高騰支援の拡充、エアコン補助8万円についても期間延長など前進がありました。

昨年は戦後80年、被爆80年の年でもあり、都議会の超党派で「原爆被爆の実相を聞く会」も成功させることができました。

昨年のニューヨーク市長選挙では「生活できるニューヨーク」「公共を取り戻す」をかかげたマムダニ氏が勝利しました。私たちも「生活できる東京」を目指し引き続き、みなさんと力を合わせます。

本年もよろしくお願いします。

### 新しい役職になりました

- 環境・建設委員会副委員長
- 都議団政調会長 … 共産党都議団の政策問題の責任者です。

### 政調会長としてTV討論会出演



昨年は私にとってこれまでにない経験をした年でもありました。

政調会長という任務につき、行政の管理職との交渉や、代表質問や討論などの準備の段取り、そしてテレビ討論会にも出演しました。

また、環境建設委員会の委員として初めての質疑にも立ちました。

緊張と超多忙な一年でしたが、良い経験にもなりました。



被爆者練馬の会、会長の綿平さん（右端）と。都議会の「原爆被爆の実相を聞く会」にて 25年12月

## 都政報告会を開催しました



昨年の12月21日午前10時～12時で とや都議の都政報告会を開催し、大勢の参加者で盛況でした。

1時間の報告の後、質問や要望が活発に交わされ有意義な会となりました。



都民の願いこめた2491項目

日本共産党都議団

# 26年度予算要求書を提出



26年度予算要求書を小池都知事に提出する日本共産党都議団・とや英津子（右から4人目）

長引く物価高騰はあらゆる都民生活におよび深刻です。いま東京都は、「住民の福祉の増進」という地方自治体の役割に立ち返り、一国の予算に匹敵する年間18兆円の巨大な財政力を、都民の暮らしを守り、地域経済を立て直すことに使うべきです。

「生活できる東京」をめざし、暮らしを守り、自己責任・市場原理優先の政治を終わらせ「公共を取り戻す」ことを最重要課題と考えます。

12月22日、その視点からまとめた2026年度東京都予算編成に対する日本共産党の提案要求書2491項目を都知事に手渡しました。

## 都立高等学校の断熱化工事が始まります

都内最大の公共施設である学校での、断熱化や再エネを進めることは、温室効果ガス削減に貢献します。また、子どもたちの健康維持や学習の集中に役立ちます。しかし3年間でわずか4校の断熱化では、スピードが遅すぎることから、早急に都立高校全校に進めることを求めました。あわせて区市町村立学校への都の支援を強く求めました。



学校現場の実態調査を行うとや英津子都議

## エアコンなど省エネ家電支援が充実 — 共産党都議団が主張して

予補  
算正

補正予算では、脱炭素化・環境レジリエンス（復元力）強化を一層推進するため、既存住宅向けの太陽光発電設置支援、東京ゼロエミ住宅の整備推進、家庭の省エネ家電への買い替えを促進するゼロエミポイントがそれぞれ拡充されました。これらはかねてから都議団が求めてきたものです。更に低所得者も負担なく環境に配慮した高性能なエアコンに買替え出来るよう、補助の拡大を求めました。

※注 東京ゼロエミ（ゼロエミッション）住宅とは … 高い断熱性能の断熱材や窓、省エネ性能の高い照明やエアコンなどを取り入れた、人にも地球環境にも優しい住宅のこと。

## 英語スピーキングテストで またもやトラブル

都は市民の声を無視して、今年も英語のスピーキングテストを強行しました。都議会の議員連盟と市民団体は、都立高校の入試に活用する英語スピーキングテストE S A T - Jをめぐりアンケートをおこないました。そこには、会場準備が間に合わなかったり、機器のトラブルや試験監督が間違った指示を出したことなどにより、終了時刻の遅延や再試験になった事例などが多数寄せられました。また会場に入れず、寒い中1時間以上野外で待たされ昼食もとれなかった、試験監督官にセクハラされたなど、人権侵害というべき事例もありました。

トラブルは毎年くり返されており構造的な欠陥としか言いようがありません。

改善できない構造的な欠陥があるE S A T - Jは、中止するほかありません。